



日本留学ネット

Japan Alumni
Global Network

ニュースレター

2022年2月号

2022年2月21日発行

Facebookページ

『日本留学ネット・Japan Alumni Global Network』
開設のお知らせ

『日本留学ネットワークマガジン（Japan Alumni eNews）が2021年3月に終了したことに伴い、新たにFacebookページ『日本留学ネット・Japan Alumni Global Network』がスタートしました。

<https://www.facebook.com/jasso.japanalumniglobalnetwork>

また、このニュースレターはその一環で年に1度、発行しています。

日本に留学した外国人の皆さんのために、留学後の生活に役立つ日本の最新情報や就職支援情報、体験談などを掲載しています。手軽に利用できるSNSのメリットを活かして、留学生や元留学生の皆さんの交流の場となることをご期待ください。

公式Facebook
『日本留学ネット・Japan
Alumni Global Network』



2021年

日本で話題になった

ニュースを振り返り

東京オリンピック・パラリンピック、1年越しに開催

新型コロナウイルス感染症の影響で史上初の1年延期となった東京オリンピックとパラリンピック。

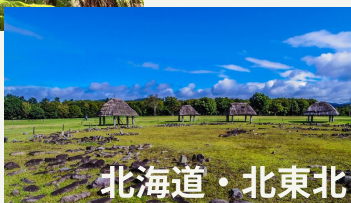
オリンピックでは歴代最多となる27個の金メダルを獲得、パラリンピックではメダル獲得数が史上2番目に多い結果となりました。



日本の「奄美・沖縄」「北海道・北東北」が世界遺産に



奄美・沖縄

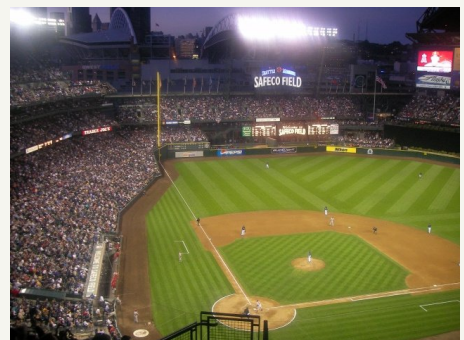


北海道・北東北

世界遺産委員会は、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表（いりおもて）島」（鹿児島県、沖縄県）を世界自然遺産、「北海道・北東北の縄文遺跡群」（北海道、青森県、岩手県、秋田県）を世界文化遺産に登録しました。国内の世界遺産は文化遺産が20件、自然遺産が5件で合計25件となりました。

アメリカ・エンゼルスで活躍中の大谷翔平メジャーMVPに

アメリカの大リーグ・エンゼルスで投打二刀流として活躍している大谷翔平が今季のア・リーグ最優秀選手賞（MVP）に選ばれました。日本人選手の受賞は2001年のイチロー（マリナーズ）以来、20年ぶり2人目です。



『外国人留学生のための就活ガイド』のご紹介

JASSOでは毎年、『外国人留学生のための就活ガイド』を発行しています。留学生が日本国内で就職活動を行うにあたり、日本独特の就職活動や採用スケジュールに戸惑われることもあるでしょう。留学生の就職は増加傾向にありますが、いつから準備が必要か？現場で求められる日本語の能力は？面接の対策は？など様々な疑問があると思います。

留学生の就職活動の現状を知り、何よりも日本企業の留学生採用ニーズを知っておくことは、就職活動に取り組む上で欠かせないことです。『外国人留学生のための就活ガイド』では、就職活動で留学生が直面する事柄について、詳しく、分かりやすく説明しています。

例えば、いつ・どんなことをするのか、業界・企業研究等の就活の準備やエントリー、採用試験の準備、在留資格の変更、就活の体験談等まで取り上げていますので、この1冊で網羅的に就活に関連する情報をカバーすることができます。

『外国人留学生のための就活ガイド 2023（日本語版）』の主な内容

- ・日本で就活（就職活動）を始める前に
- ・就活の準備
- ・エントリー
- ・採用試験・内定から入社まで
- ・在留資格の変更
- ・就活体験談

『外国人留学生のための就活ガイド 2023（日本語版）』は、下記URLにてPDF版をダウンロードできます。

（冊子版の送付は2022年2月末より開始予定）

https://www.jasso.go.jp/ryugaku/after_study_j/job/guide.html

また、2023年版の英語版、简体字版、繁体字版、韓国語版のPDF版は同URLにて2月末ごろからダウンロードできますので、ぜひご活用ください。

留学生の就職についてはこちらのページもご活用ください。

<https://www.studyinJapan.go.jp/ja/job/employment/>

『外国人留学生のための就活ガイド 2023』



また、日本で就職を希望している人は、まず自分が所属している大学（学校）のキャリアセンターや、国際交流センターに相談してみましょう。

元留学生はどのようにキャリアを選んだのか？ 体験談をインタビューしました！

「貴重な留学経験を将来の輝きに繋げてほしい」
との思いを持ち、中国で日本語教育の道へ！

■ プロフィール

- ・名前：史 暁悦（シ ギョウエツ）
- ・国籍：中国（山東省青島市）
- ・言語：中国語、日本語、英語
- ・出身大学（学部・学科）：近畿大学
（総合社会学部社会・マスメディア専攻）



■ 職歴

2016年から2018年：大学卒業後、中国で国内大手語学学校に就職、運営全般を担当。

2019年から2020年：中国江蘇省の学校で日本語教師として勤務。

2020年10月から現在：個人起業。中国国内高校の日本語指導。

高校卒業後に、日本へ留学する意思の強い学生のサポート役として活躍。

留学後の進路について日本での就職と海外での就職 どちらとも検討していましたか？

4年生だった時に出身地の中国で就職、日本での就職、海外での就職、それぞれ検討しましたが、最終的に帰国する道を選びました。

背景としては大きく2つあります。

1つ目は、留学経験を活かして家族の力になれること。

家族が経営する会社が日本とのビジネス提携なども行っており、私が日本で培った経験を活かして身近な家族の役に立てると思ったからです。

2つ目は、「母国の中国と日本の架け橋になる」という私の目標をかなえるためです。

留学前からの目標であったため、初心に帰って母国で日本との架け橋になれる仕事がしたく、帰国を決意しました。

日本での留学経験は現在のキャリアを形成する上でどのように役に立っていますか？

同じ道を歩んできた経験者として、同じく留学の夢を持っている若者に「日本の良さ」を味わっていただきたいため、留学希望の生徒たちをしっかりとサポートできます。

また、日本語に関する知識や、受験した経験、中国で学校の運営をした経験があったことにより、起業に繋げることができました。

就職準備中の皆さんへ一言

自分の可能性を信じて、誠実に困難を乗り越えていきましょう！



日本のDX(デジタルトランスフォーメーション)化が遅れていることに着目し、ノーコードでアプリ開発！

■ プロフィール

- ・ 名前：Igor Voroshilov
(イーゴリ ヴォロシオフ)
- ・ 国籍：ロシア
- ・ 言語：ロシア語、英語、日本語

■ 学歴

- ・ 2012年9月～2016年8月：モスクワ大学グローバル学部
- ・ 2015年3月～2015年8月：上智大学
- ・ 2017年9月～2019年8月：東京大学大学院 修士課程

■ 職歴

- ・ 2018年8月～現在：株式会社LikePay CEO

起業しようと思ったきっかけは何ですか？

大きく分けて理由は2つあります。

- ①小さい頃から自由に人生を楽しみたいと思っていたから。
- ②大学院1年生で研究のプロジェクトが始まっていない段階で就職活動を開始するのは違和感があり、自分で起業した方が早いと感じたから。

- ①自由に人生を生きるために自分のビジネスを立ち上げたいと思っていたから。

昔から自由に生きていきたいという考え方があり、自分のビジネスを作ってみたいと思っていました。

私が就活をしていた頃は、外国人留学生の採用をしている企業では日本人と同じ仕事をする人が多い印象でした。

しかし、個人的には外国人留学生は文化の考え方や多言語を扱える等、日本の学生と異なるスキルを持っていると思うので、それを生かして事業にチャレンジするなど、自分の武器となるスキルを活用して仕事をしたいと思い始めました。

- ②大学院1年生で研究のプロジェクトが始まっていない段階で就職活動を開始するのは違和感があり、自分で起業した方が早いと感じたから。

大学院修士1年生の時、就活イベントに参加しましたが、研究プロジェクトなどが始まっていない段階で就活を開始するのに違和感がありました。

また、就職スケジュールは大変かつ長いプロセスがあり、私にとっては就活に1.5年分もの時間を割くのは勿体無いと感じ、この就活にかかる時間は自身で起業をした方が良いのではないかと考えていました。

そのような時に私と同じく起業を検討していた友人に誘われて、スタートアップイベントに参加しました。

このイベントを通して、外国人の起業家からどのように起業をしたのか等の話を伺い、段々と起業のイメージが具体的になったことで起業するという目標が実現できると感じました。

また、日本で起業した外国人起業家の方からリアルなお話を伺ったことで非常に勇気をもらい、背中を押してもらえましたね！

日本の大学で学んだ事は起業に役立ちましたか？

大学で学んだ事と会社のサービス内容は直接的に関係無いのですが、留学生活を通して「自身の頭で考える」「様々な人と交流し人脈を作る」という経験が特に起業に役立ったと思います。実際に日本のDX化が遅れていることに着目し、ビジネスのアイデアに活かしました。

母国のロシアや海外で起業する選択肢もあったと思いますが、日本で起業した理由は何ですか？

ビジネス形態が日本に親和性が高いと思ったからです。Instagram等で日本人が消費する商品やサービスを投稿する傾向にあるので、自社のサービスとマッチするのではないかと考え、日本を拠点に置いて起業することにしました。

留学生の皆さんへのメッセージ

日本で起業するのは文化の違いなどもあり、とても苦労しますが、トライ&エラーをして考えながらチームでビジネスを創り上げるという貴重な経験ができます。チャレンジが好きな留学生の皆さんは、自身が外国人であるという強みを生かしてぜひ起業に挑戦してみてください！

帰国留学生会のご紹介

各地域で帰国留学生会として活動している団体をいくつかご紹介します。

■インド文部省留学生協会（MOSAI）（インド）

継続的な学習または研究のために1年以上日本に滞在したことのあるインド人を対象とした同窓会組織です。

ウェブサイト:<https://mosai.org.in/>

活動内容は以下の通りです。

1. MOSAI 日本語学院：日本語教育部門
2. 高等教育相談室：日本留学情報提供部門
3. 日本留学試験（EJU）の実施
4. 日本語能力試験（JLPT）の実施
5. 日印間の学術・教育セミナーおよび会議の開催
6. 全インド日本語スピーチコンテストの実施



■カメルーン帰国留学生会（カメルーン）

世界中にいる日本の大学を卒業したカメルーン人のネットワークです。設立（2005年）から17年間、駐カメルーン日本大使館と繋がりを持ち続けており、日本とカメルーン間の文化交流促進を図っています。当協会のメンバーは、国家機関、NGO、企業などで働いています。

連絡先：tetsopgang@yahoo.com

■帰国留学生の会「絆-KIZUNA」（スイス）

「絆-KIZUNA」は、日本で留学/研究/就労経験のある人々のネットワークです。約100名のメンバーで構成されており、通常、年に1回の公式会合が開かれ、新メンバーの紹介、講演会、メンバー同士の交流などが行われます。KIZUNAは、より多くの日本経験者及び日本に興味関心を持つ人々と繋がることを目指して活動しています。

ウェブサイト:https://www.ch.emb-japan.go.jp/itpr_de/kizuna.html



■ジョージア元日本留学生同窓会（ジョージア）

新型コロナウイルス感染症の影響で、活動中止となっていますが、通常、年に一度、日本の大使官邸で集まり、情報と意見の交換を行い、新しい同窓生を紹介する会を開催します。

連絡先：k.tsereteli@freeuni.edu.ge

■ドイツ語圏日本学術振興会研究者同窓会（略称：JSPS-Club）（ドイツ）

JSPS-Clubは現在様々な分野の研究者約500名が在籍し、内約60名は日本で研究に従事しています。会員はJSPSのみならず、JASSOの奨学金制度を利用して日本に滞在した研究者も入会することができます。JSPS-Clubは、独日学術交流に関心のある者を対象としたシンポジウムや、日本及びドイツ語圏で会員向けの定例会等を例年開催しています。また、JSPSボン研究連絡センターと共催でジュニアフォーラムをドイツで開催し、研究成果等を発表する機会を提供しています。

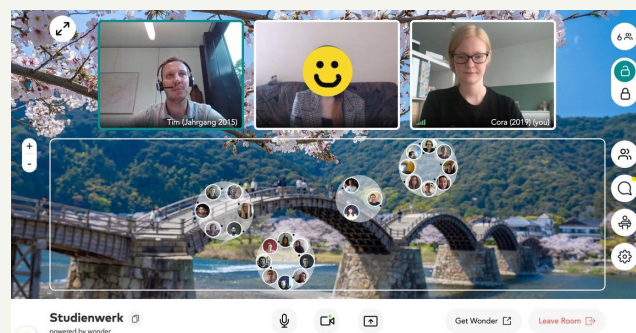
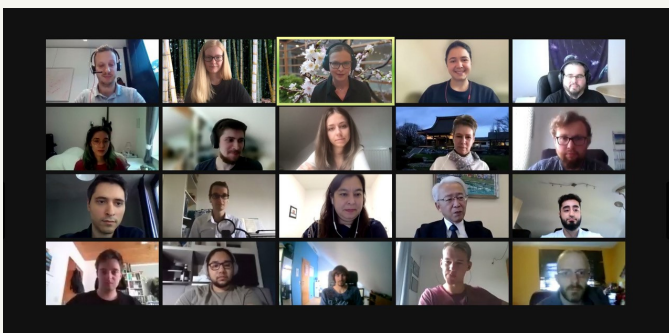
ウェブサイト：<https://www.jsps-club.de/>



■独日文化交流育英会奨学生友の会（ドイツ）

独日文化交流育英会奨学生友の会は、学生援護会のフェローシッププログラム "Experience Japan!" の元参加者のネットワークです。"Experience Japan!" は、様々な分野で活躍するドイツ人学生や若い研究者に、日本で文化や社会について学ぶ機会を提供しています。そして、ドイツで開催する日本関連のイベントを共催し、文化交流を促進しています。

ウェブサイト：<https://www.japan-studienwerk.de/>



■ヨルダン・日本学術協会（ヨルダン）

両国関係の構築、文化活動の促進、学術交流の促進、日本の学術機関とのパートナーシップの構築、ヨルダンの学術機関に対する文部科学省の奨学金の促進、およびこの奨学金に科学的に高い評価を受けている学生を推薦することに集中しています。また、日本とヨルダン双方から講師を招いて講演会を開催、学術研究者のマッチングなどにも注力しています。



Facebook:<https://m.facebook.com/groups/238597356277401/>

■ルワンダJICA帰国研修員同窓会（ルワンダ）

JICAプログラムを通じて日本から農業、ICT及びテクノロジー、健康、教育などの分野で技能と知識を習得した800人以上のルワンダ人で構成されています。JICAの研修で得られた多様な知識を活用して、ルワンダの貧困削減に貢献し、ルワンダ人の教育、健康、農業、動物資源、環境保護、インフラの発展に貢献することにより、社会的および経済的福祉を促進し、永続的な平和と人権の尊重を提唱しています。

連絡先:jaarrwanda2019@gmail.com



その他、各地域の帰国留学生会は以下からご確認ください。

<https://www.studyinjapan.go.jp/ja/network/list/>



留学生、元留学生を対象とする支援事業のご紹介

JASSOでは帰国した留学生の支援も行っています。今回は『帰国外国人留学生短期研究制度』と『帰国外国人留学生研究指導事業』についてご紹介します。2022年度の募集は終了していますが、過去に採択された方のレポートをご覧いただければ今後の参考になるでしょう。

■帰国外国人留学生短期研究制度

日本で留学を終え、教育や学術研究、あるいは行政の分野で活躍している帰国留学生を対象とした制度です。日本への渡航費と滞在費を補助することで、改めて来日いただき、留学当時指導していた教員と共に日本の大学で短期研究を行います。

- ・2021年度採択人数：26名
- ・2022年度採用人数：24名程度（予定）

帰国外国人留学生短期研究制度採用者のレポートはこちら

https://www.jasso.go.jp/ryugaku/after_study_j/tanken/report/index.html



■帰国外国人留学生研究指導事業

日本での留学を終え、自国の大学や学術研究機関で教育や研究活動に従事している帰国留学生に対して、日本留学時の指導教員を現地に派遣し、研究指導等を行う制度です。

- ・2021年度採用人数：5名
- ・2022年度採用人数：5名程度（予定）

帰国外国人留学生研究指導事業採用者のレポートはこちら

https://www.jasso.go.jp/ryugaku/after_study_j/shido/report/index.html



【応募条件と注意事項】

どちらの制度・事業も、日本の大学院を修了後、母国に帰国し自国の教育、学術研究、行政の職についている人のみが対象です（民間企業の研究機関などは対象になりません）。その他の申請の条件等はJASSOウェブサイトの募集要項や留学時に所属していた大学で確認してください。

編集部より

今回は2021年のニュース、就職・キャリア、帰国留学生会や支援事業の紹介等をテーマとして取り上げましたが、いかがでしたでしょうか？

日本留学ネット・Japan Alumni Global Network Facebookページでは、留学生や元留学生の皆さんに役立つ情報をお届けし、また、皆さんの交流の場になることをめざしています。

今、この投稿をご覧になっているあなたも、日本にいた思い出や仲間を知って欲しい話題などを、日本留学ネット・Japan Alumni Global Network で紹介してみませんか？ お名前とメールアドレスを記載の上、ぜひFacebookのダイレクトメッセージまたはメール（alumni-newsletter@jasso.go.jp）にてご連絡ください。



発行者
 独立行政法人日本学生支援機構
 留学生事業部 国際奨学課
 フォローアップ・キャリア支援係
 E-mail: alumni-newsletter@jasso.go.jp